

■■■■ 前回ふりかえりシートまとめ（2月12日分） ■■■■

1. 今日の議論でよかったこと

- 対策案の提示で、具体的な議論ができた。形が見えてきた。
- 対策案があり、話し合いが具体化し煮詰まったので有意義な会だった。
- 具体的な方向性が示されており、議論が進んだと思う。
- 具体的な内容が話せた。
- 評価軸による討論は分かりやすかった。
- 評価軸を中心に、他の方の意見や曾野木地域の現状を知ることができた。
- 新しく整備する施設について、色々な資料があって、以前より具体的に考えることができてよかった。
- 夢がふくらんできたが、早めに工事に着手してほしい。
- 問題点・改善点が出された。
- その世代に必要な内容がまとめられた。
- 現在だけでなく、未来を通じた意見が出た。
- アクセス等が今回話題に出たことはよかった。
- 子育て等の問題。
- 一極集中施設。
- 色々検討できてよかった。
- さまざまな意見が聞けてよかった。みんな地域の将来について真摯だった。
- 色々な世代の方の意見が聞けた。
- 幅広い意見が交わされた。

2. 内容について言い足りなかったこと

- 人口増加のためにも、周辺の宅地造成も（農地の部署だと思うが）検討してもらいたい。
- 今後問題になる地域包括ケアシステムについても取り入れてもらいたい。
- 弾力的に運用していくことが必要。
- 防災・交通に関して記載がない。
- 市営住宅跡地にこだわることなし。すべてが企画力であるということ。
- 保育園の統廃合については、現在子どもを預けている人に案を示して意見を聞いたらいと思う。
- 曾野木荘の廃止は、これからますます利用が増えると思うので、廃止しないでほしい。
- 住民や住宅が増えれば、店舗などもできる。店舗や交通アクセスがよくなれば、住民や住宅が増えるのか？卵が先か、鶏が先か、不毛な議論のような気がする。
- 障がい者と住民が交流できる施設、または障がい者施設は開設できないのか。
- 同じ施設は必要ない。まったく違うものをつくらないと、現状は変わらない。

3. 進め方について言いたいこと

- 新施設の中身と地域の方向の話が混同している。どの施設がどんな目的で設置されたのか、今一度確認してほしい。
- 第1回・第2回と中身の内容について議論していたが、今回は何について話し合いをしたのか分かりづらかった（どの機能が新施設に入るかによって評価も変わってくるので）。新施設の大きさはどのくらいの規模なのか。
- 考える手がかりになる資料、例えばそれぞれの案で想定している建物の広さや整備にかか

---

る費用なども示してもらえるとありがたい。(あるのかもしれないが、すぐに理解しづらい)

- 他地域の実施例が知りたいという意見に同感。自分で調べるには限度がある。
- 他地域の事例が知りたい。
- 複合施設の例など、他県まで広げた事例を挙げると想像しやすい。
- 第4回ワークショップでは、施設のシミュレーションを考えてほしい。
- 内容が飛躍していて、何を言うべきか毎回迷う。
- グループの人数が少ないのでグループの再編成をしたが、逆に人数が多かった。人数が少ない班に多い班から入ってもらうというやり方もあるのでは。
- 司会の声が小さく聞き取れないところが多かった。
- 移転する可能性のある施設に実際に勤めている人や利用している人の意見も入れるとよかった。
- 各意見を一人一人に聞くべき。
- 内容が具体的になってきていて、3時間が短く感じた。